

# ごみを減らすためにできること

近年、生活に欠かせない石油などの資源の枯渇や、ごみを最終的に埋め立てる処分場のスペース不足、ごみによる環境汚染などが問題になっています。

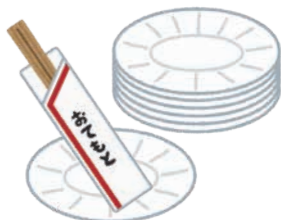
現在の暮らしを続けていくために、**3つのR**と**食品ロス削減**を意識して、ごみを減らし、資源を有効利用しましょう。

## 3R(スリーアール)とは

リデュース

### Reduce

ごみを増やさない



必要なものを必要な分だけ買う、使い捨て商品はできるだけ買わないなど、ごみを発生させない生活を心がけましょう。

リユース

### Reuse

繰り返し使う



いったん使用された製品や容器などを洗って繰り返し使しましょう。服や家具を欲しい人に譲るなど、ものを長く使うことも大切です。

リサイクル

### Recycle

資源として再利用する



どうしても他に利用できないものは資源としてリサイクルしましょう。正しく分類してきれいな状態で資源ごみや資源集団回収に出しましょう。

## 食品ロスの削減

食品ロスとは、食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

日本の食品ロス量は年間約600万トン以上、主に食べ残し、賞味期限切れ、皮の剥き過ぎなどが発生要因です。

私たち一人ひとりが食べ物をもっと無駄なく、大切に消費していく必要があります。



### 食品ロス削減のポイント

- 買い物で…買い物に出かける前に食品のストックを確認して、必要なものを必要な分だけ買うようにしましょう。
- 家庭で…計画的に食材や食品を使って最後まで無駄なく使い切りましょう。残さず食べきれる量を作ることで食べ残しを減らして食費も抑えられます。
- 会食で…宴会などでは特に食べ残しが多くなります。始まってから30分間と終わる前10分間は席に座って食事を楽しむ「3010運動」に取り組みましょう。



# マイクロプラスチック問題

マイクロプラスチックとは、大きさが5ミリ以下の微細なプラスチックごみのことです。近年、プラスチックごみが川や海へ流れていくことによる海洋汚染が環境問題として認識されるようになり、魚などが食べることで食物連鎖による生態系への影響が懸念されています。

海に面していない音更町ですが、マイクロプラスチックができるまでには、私たちの暮らしが深く関わっています。不法投棄などにより正しく捨てられなかったプラスチックごみが道路側溝や町内を流れる河川を通じて海に流れ出ることを考えると、決して無関係な問題ではありません。

日本は、1人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量が世界で2番目に多い国です。プラスチック製品は、軽くて丈夫で持ち運びしやすい、様々な製品に加工しやすい特徴があることで、私たちの生活に多く使われています。

しかし、私たちがこのまま使い続けると2050年には、海にいる魚の重量よりも海を漂うプラスチックごみの重量の方が多くなるとの試算も出ています。

プラスチックも、きちんと分別すれば資源としてリサイクルすることができますし、プラスチックごみを減らすことに繋がります。

町民の皆さんにおかれましては、次世代に豊かな環境を引き継いでいくためにも、正しくごみを分別して出していただきますようお願いいたします。



# 不法投棄は犯罪です

日々の生活から排出される家庭のごみや事業活動に伴って排出される産業廃棄物などの廃棄物をみだりに捨てることは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により禁止されています。

これに違反して廃棄物を不法に捨てた場合には、5年以下の懲役もしくは1千万円以下（法人の場合は3億円以下）の罰金が科せられます。

ごみは一旦捨てられた場所や、管理の不適切な場所に繰り返し捨てられる傾向があります。駐車場や資材置場、空き地などを所有・管理する方は、ごみを捨てられないよう適正な管理に努めてください。

不法投棄を発見した場合は、近くの交番か警察署、環境生活課に通報してください。

